

## 茨城港常陸那珂港区中央ふ頭地区国際物流ターミナル整備事業

### ■事業の目的及び概要

茨城港常陸那珂港区は近年、直背後に大手建設機械メーカーの製造工場が立地するとともに、企業立地が相次いでおり、建設機械や中古自動車の輸出を中心とする外貿RORO貨物の一大輸送拠点となっています。

また、東日本大震災の教訓を踏まえ、大規模地震発生後の緊急物資輸送の確保や、企業物流を維持するための耐震強化岸壁の整備が強く求められています。

このため、平成24年度から、建設機械等の世界的な需要拡大に伴う外貿RORO貨物の増大に対応するとともに、大規模地震に対する耐震性能を有する新たな国際物流ターミナル(水深12m)を整備します。

### ■平成27年度事業

岸壁(水深12m)(耐震)の上部工等及び航路・泊地(水深12m)、泊地(水深12m)の浚渫工を実施します。

### ■効果

- 新たな国際物流ターミナルの整備により、大型RORO船等によって一度に大量の貨物輸送が可能となり、物流コストが削減出来ることによって、地域産業の国際競争力が向上します。
- 耐震性能を有しているため、大規模地震発生後も緊急物資等の荷役作業が可能であることから、震災時の輸送拠点として機能します。



### ●用語の説明

※1 耐震強化岸壁：被災直後の緊急物資及び避難者の海上輸送を確保するため、耐震性を強化して建設される岸壁

※2 RORO：ROLL ON ROLL OFFの略。貨物をトラックやフォークリフトで積み卸す水平荷役方式をいう。

水平荷役方式の貨物船(RORO船)は、船尾や船体の側面にトラック等の出入り用の開閉扉を有する。

## 鹿島港外港地区国際物流ターミナル整備事業

### ■事業の目的及び概要

鹿島港は、石油化学、鉄鋼、飼料、木材などの企業群が立地する国内最大級のコンビナートの海上輸送基地であり、外貨貨物の増加に対応する公共岸壁の整備が必要となっています。

また、東日本大震災の教訓を踏まえ、大規模地震発生後の緊急物資輸送の確保や、企業物流を維持するための耐震強化岸壁の整備が強く求められています。

このため、外貨貨物の増加と輸送船の大型化に対応するとともに、大規模地震に対する耐震性能を有する新たな国際物流ターミナル(水深14m)を整備しています。

### ■平成27年度事業

防波堤(南)のケーソン据付等を実施する予定です。

### ■効果

- 国際物流ターミナルの整備により、大型船によって一度に大量の貨物輸送が可能となり、物流コストが削減できるため、地域産業の国際競争力が向上します。
- 防波堤の延伸を行うことにより、港内の静穏が保たれ、より安全に船舶が接岸できる回数が増えるため岸壁での荷役作業効率が向上します。
- 耐震性能を有しているため、大規模地震発生後も緊急物資等の荷役作業が可能であることから、震災時の輸送拠点として機能します。



#### ●用語の説明

※1 耐震強化岸壁:被災直後の緊急物資及び避難者の海上輸送を確保するため、耐震性を強化して建設される岸壁